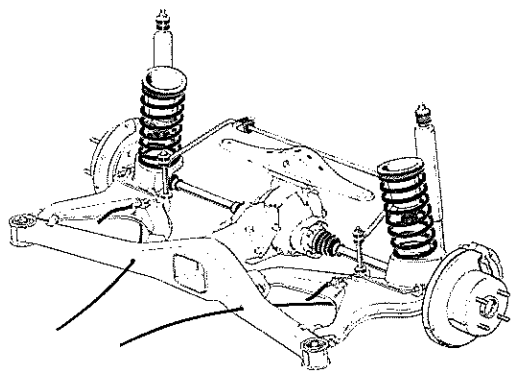
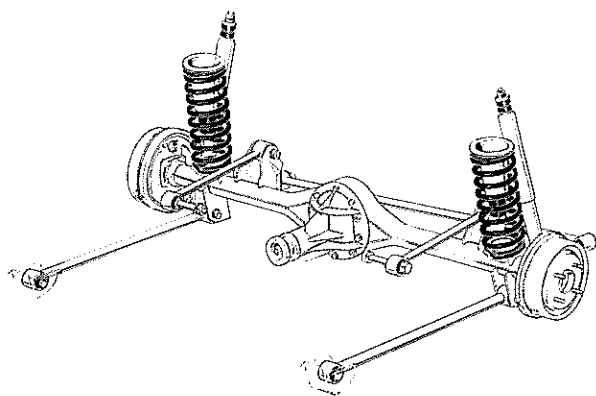


構成図

[C-RX31, MX31・33系]



[C-RX30, MX30系]



[H-RX37V, C-MX35系]

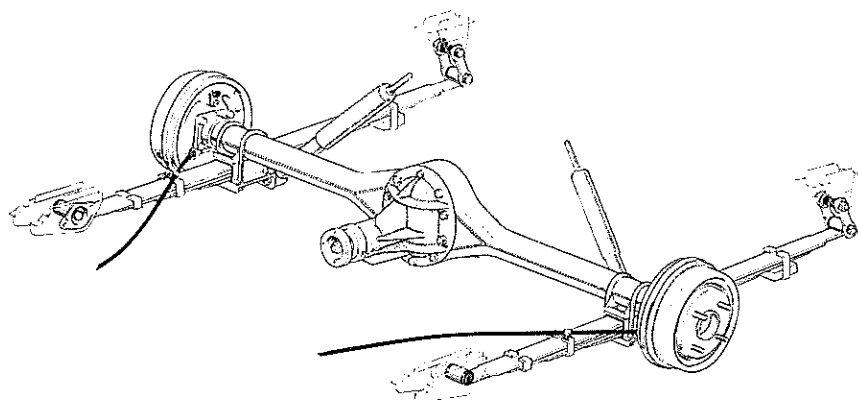


図10-1 構成図

M2081～M2083

仕 様

表10-1 コイル スプリング仕様

車 両 型 式	C-R X30, MX30系	C-R X31系	C-MX31, MX33系
線 径 (mm)	12.0	14.0	←
コ イ ル 平 均 径 (mm)	120	130	←
総 巻 数	8.42	8.11	←
自 由 長 (mm)	413	368	←
取 り 付 け 長 (mm)	249	222	←
取 り 付 け 荷 重 (kg)	296	396	←
バ ネ 定 数 (kg/mm)	1.8	2.75	←
荷 重 分 類 (kg)	白	—	384~392
	青	—	392~400
	緑	—	—
	赤 一 個	284~296	—
	赤 二 個	296~308	—
コイル スプリング組み合せ	左 側	赤 一 個	白
	右 側	赤 二 個	青

表10-2 アブソーバ仕様

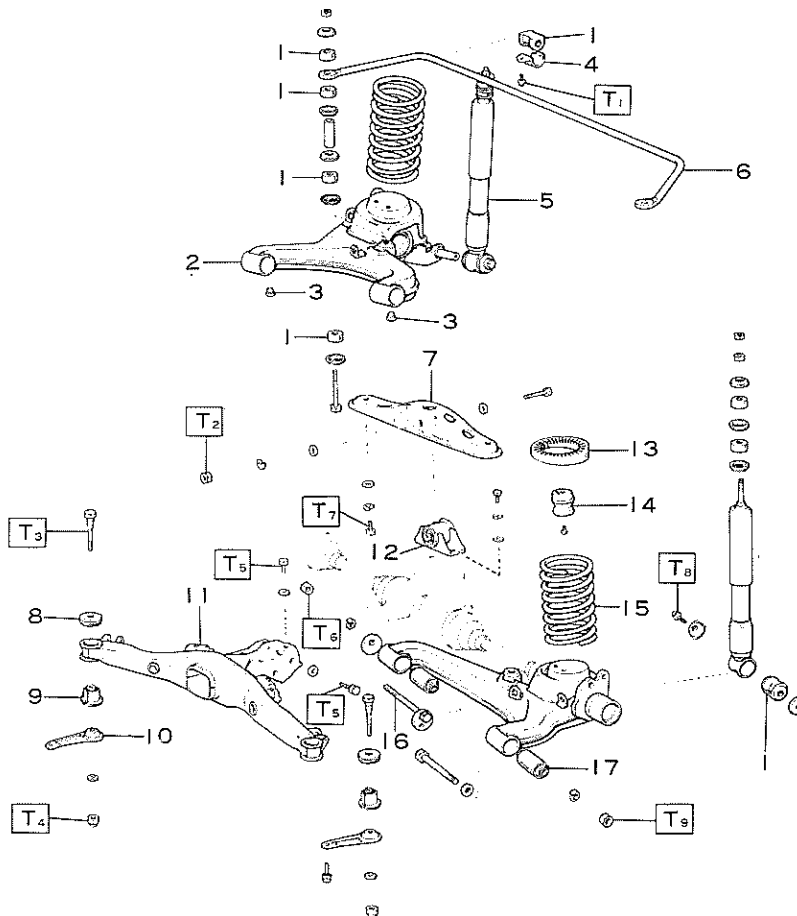
車 両 型 式	H-R X37V		C-R X30, MX30系	C-R X31, MX31・33系	C-MX35系
	-R系・-D系	-N系			
ス ト ロ ー ク (mm)	210	←	247	230	205
最 大 長 (mm)	515	←	602	617	505
最 小 長 (mm)	305	←	355	390	300
減 衰 力 (kg [0.3m/sec])	伸 時	76	96	66	50
	縮 時	39	43	26	25

表10-3 リーフ スプリング仕様

車 両 型 式	H-R X37V		H-R X37V (-N系)	C-MX35系	
	(-R系・-D系)				
幅 (mm)	70		←	←	
厚 さ (mm)	7		6	7	6
枚 数	3		4	2	
ヘルパ スプリング (mm)	幅	70		←	
	厚 さ	11		13	
キ ャ ン バ (mm)	無負荷時	124		133	
	負 荷 時	-13~-1 (435kg)		←	
				-3~9 (306 kg)	

〔C-RX31, MX31・33系 セミ トレーリング アーム式 IRS〕

構成部品および締め付けトルク



〔締め付けトルク単位：kg-cm〕

T_1	=	300	～	450
T_2	=	600	～	800
T_3	=	2000	～	3000
T_4	=	1000	～	1400
T_5	=	700	～	900
T_6	=	1150	～	1500
T_7	=	500	～	700
T_8	=	300	～	450
T_9	=	1000	～	1350

- 1 ブッシュ
- 2 アーム サブ ASSY, リヤ サスペンション
- 3 グロメット
- 4 ブラケット, スタビライザ パー
- 5 アブソーバ ASSY, ショック, リヤ
- 6 パー, スタビライザ
- 7 メンバ, デイフアレンシヤル サポート
- 8 ストツバ, リヤ サスペンション メンバ, アツバ
- 9 クワシヨン, リヤ サスペンション メンバ
- 10 ストツバ, リヤ サスペンション メンバ, ロワー
- 11 メンバ サブ ASSY, リヤ サスペンション
- 12 クワシヨン & ブラケット サブ ASSY, デイフアレンシヤル サポート
- 13 インシュレータ, リヤ コイル スプリング
- 14 パンパ, リヤ スプリング
- 15 スプリング, コイル, リヤ
- 16 カム ASSY, キャンバ アジャスト
- 17 ブッシュ サブ ASSY, リヤ サスペンション アーム

図10-2 構成部品および締め付けトルク

SST, 工具, 計器

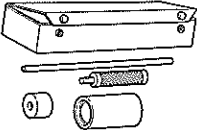
S S T		09710-22030	ツール セット, リヤ サスペンション プシュ
-------------	---	-------------	-------------------------

図10-3

シヨツク アブソーバ &
コイル スプリング

取りはずし

- (1) サスペンション メンバをスタンドで支え, サスペンション アームをジャツキで支えておく。
- (2) 次の部品を取りはずす。
 - ① ホイール
 - ② ブレーキ ホース クランプ
 - ③ スタビライザ バー エンド
 - ④ シヨツク アブソーバ
 - ⑤ ドライブ シャフト
 - ⑥ サスペンション アーム を下げながら コイル スプリング をはずす。

注意

フレキシブル ホースおよびパーキングケーブルを引つばらないように注意する。

点 検

- (1) 機能, 異音, 油漏れ, ブシユの摩耗を点検し, 不良のものは交換する。

取り付け

- (1) 次の部品を取り付ける。
 - ① コイル スプリング
T=190~310kg·cm (ボデー側)
T=300~450kg·cm (アーム側)
 - ② シヨツク アブソーバ
 - ③ ドライブ シャフト
T=600~800kg·cm
 - ④ スタビライザ バー
 - ⑤ ブレーキ ホース クランプ
 - ⑥ ホイール
- (2) スタンドを取りはずす。

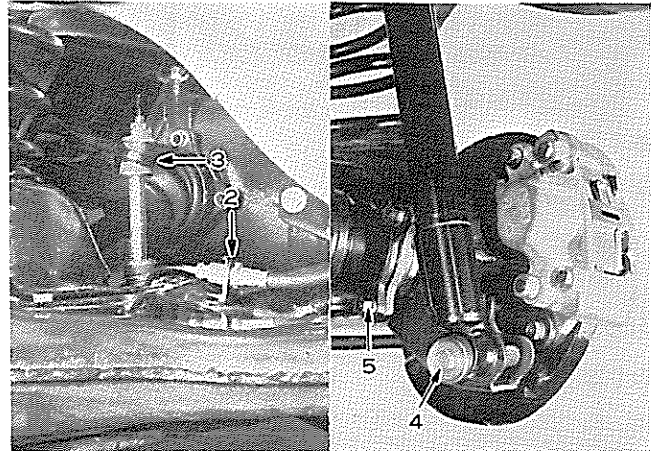


図10-4 シヨツク アブソーバ取りはずし

H0167 H0168

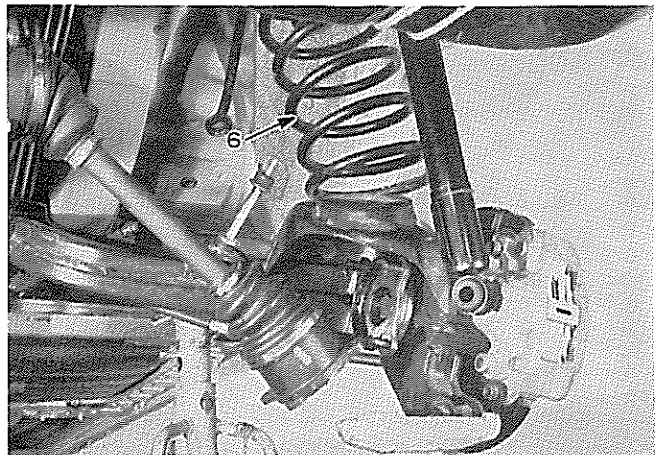


図10-5 コイル スプリング取りはずし

H0169

スタビライザ バー

取りはずし

(1) 次の部品を取りはずす。

- ① ブラケット (エンド部, ボデー側)
- ② スタビライザ バー

点 検

(1) 次の部品を点検する。

- ① ブシユの摩耗, き裂, 衰損
- ② バーの損傷, 曲がり

取り付け

(1) ボデー側ブラケット取り付けボルト

$$T = 300 \sim 450 \text{ kg-cm}$$

サスペンション アーム

取りはずし

(1) 次の部品を取りはずす。

- ① フレキシブル ホース
(ボデー側)

- ② パーキング ケーブル No.2 No.3
取り付け部

(ブレーキの項参照)

- ③ コイル スプリング

(P 10-5参照)

- ④ サスペンション アーム

〈注意〉

カム プレートのマーク位置を覚えておく。

- ⑤ ブシユ

SST (09710-22030)

点 検

(1) 次の部品を点検する。

- ① ブシユの摩耗, き裂, 衰損
- ② アームの損傷, き裂, 曲がり

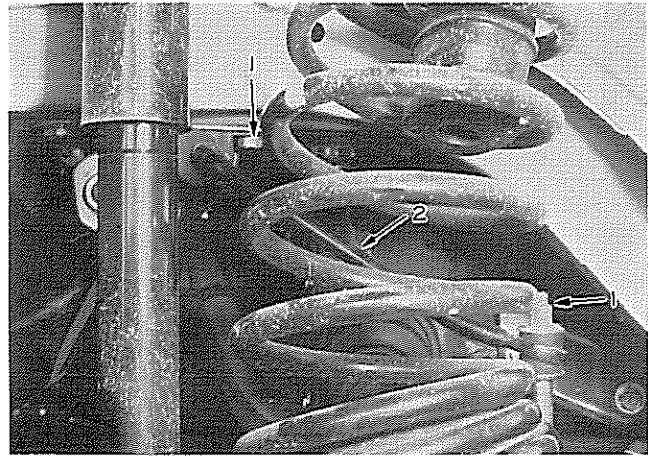


図10-6 スタビライザ バー取りはずし

H0170

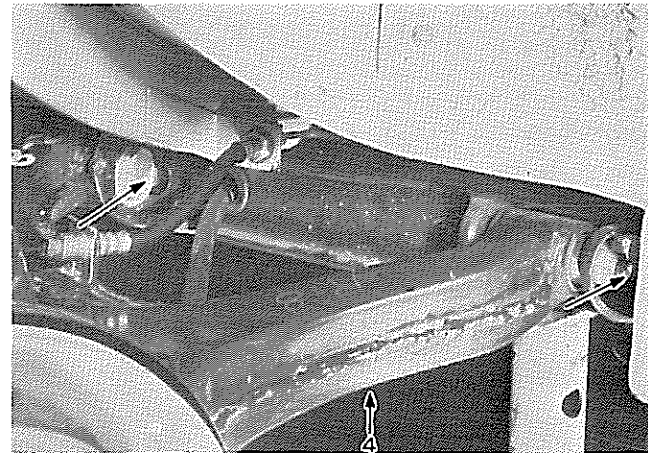


図10-7 サスペンション アーム取りはずし

H0171

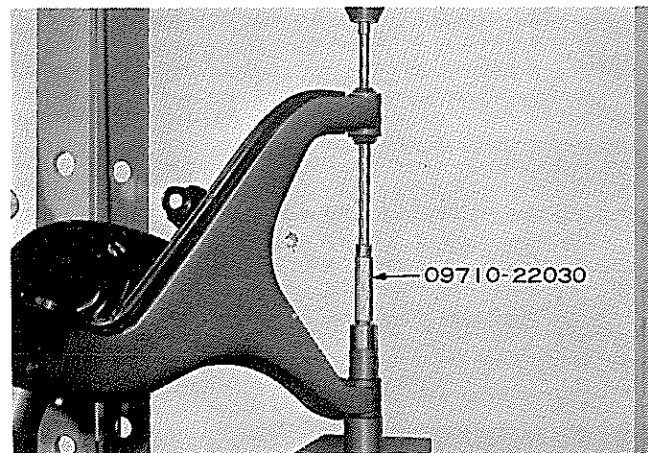


図10-8 ブシユ取りはずし

H0172

取り付け

(1) 次の部品を取り付ける。

- ① ブシユ
SST (09710-22030)
- ② サスペンション アーム ASSY
仮り締め

—————(注意)—————

カム プレート のマーク はもとの位置に
する。

- ③ コイル スプリング
(P10-5参照)
- ④ フレキシブル ホース & パー
キング ケーブル
(ブレーキの項参照)

- (2) ブレーキのエア抜きをする。
- (3) サイド ブレーキ点検
- (4) 車両を降し上下に数回ゆすり、車
高を基準高さにして、サスペンシ
ョン アームを締め付ける。
T=1000~1350kg-cm (外側)
T=1150~1500kg-cm (内側)
- (5) リヤ トーインを点検、調整する。
(P10-9参照)

サスペンション ASSY

取りはずし

- (1) 次の部品を取りはずす。
- ① プロペラ シャフト
- ② パーキング ブレーキ ケーブル
- ③ エキゾースト テール パイプ
- ④ ブレーキ フレキシブル ホース
(ブレーキの項参照)
- ⑤ コイル スプリング(P10-5参照)
- ⑥ リヤ サスペンション ASSYを
をジャツキで支える。
- ⑦ デフ サポート メンバ取り付け
ボルト
- ⑧ バツク シート クツシヨン
- ⑨ サスペンション メンバ 取り付
けボルト & ナット
- ⑩ サスペンション ASSY

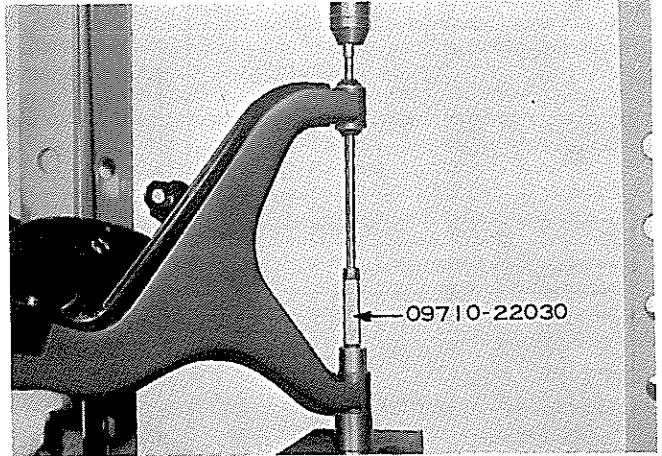


図10-9 ブシユ取り付け

H0173

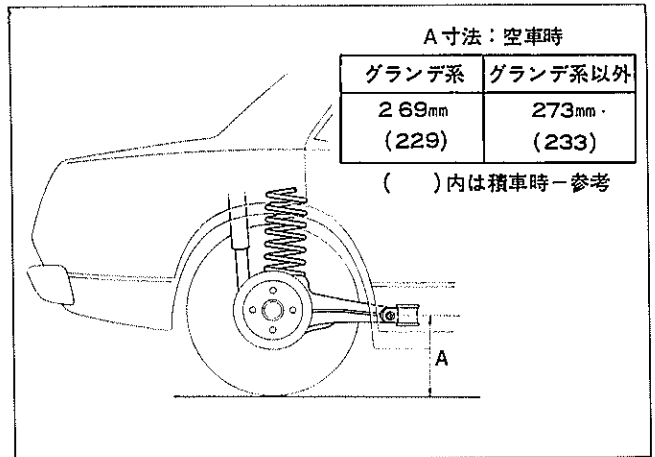


図10-10 車高規制時高さ

M1474

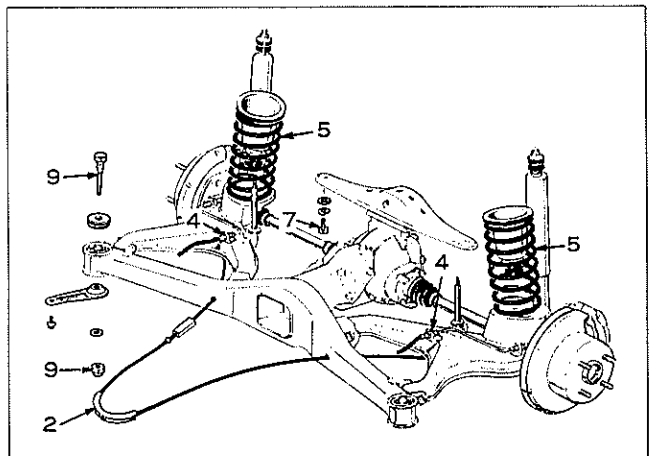


図10-11 サスペンション ASSY取りはずし

M2187

点 検

(1) 次の部品を点検する。

- ① クツションのき裂、衰損
- ② メンバの損傷、き裂、曲がり

交 換

(1) クツションの交換

プラスチックハンマなどを用いて、脱着する。

~~~~~  
 <注意>  
 ~~~~~

- 1 クツションはメンバ下側から打ち込みスグリの方向は車両の進行方向と一致するように組み付ける。
- 2 組み付け時、ラバー部を打たないように注意する。

組み付け

(1) サスペンション ASSY をジャッキアップし次の部品を組み付ける。

- ① サスペンション メンバ 取り付けボルト & ナット
 $T=2000\sim 3000\text{kg}\cdot\text{cm}$
 (上側ボルト)
 $T=1000\sim 1400\text{kg}\cdot\text{cm}$
 (下側ナット)
- ② バック シート
- ③ デフアレンシヤル サポート メンバ 取り付けボルト
 $T=500\sim 700\text{kg}\cdot\text{cm}$
- ④ コイル スプリング (P10-5参照)
- ⑤ ブレーキ フレキシブル ホース
- ⑥ エキゾースト テール パイプ
- ⑦ パーキング ブレーキ ケーブル
 (ブレーキの項参照)
- ⑧ プロペラ シャフト

デフアレンシヤル

サポート メンバ

取りはずし

(1) メンバを取りはずす。

点 検

(1) クツションのき裂、衰損、メンバの損傷、き裂、曲がりを点検する。

交 換

(1) クツションの交換

プラスチックハンマなどを用いて脱着する。

~~~~~  
 <注意>  
 ~~~~~

そう入方向とスグリ部分に方向性があるので注意する。

(4) メンバを取り付ける。

$T=500\sim 700\text{kg}\cdot\text{cm}$

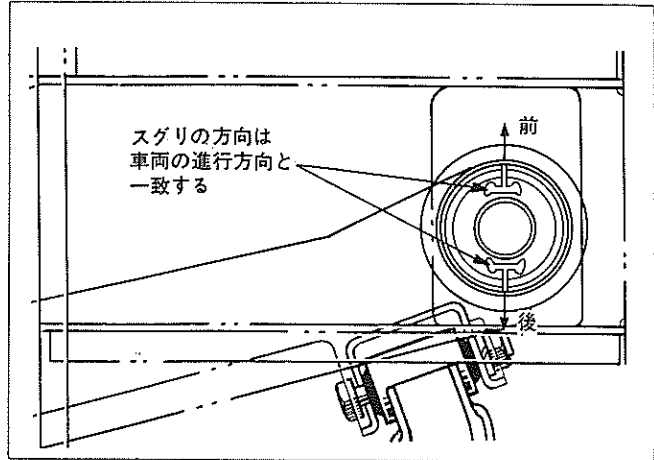


図10-12 クツションの交換

M1475

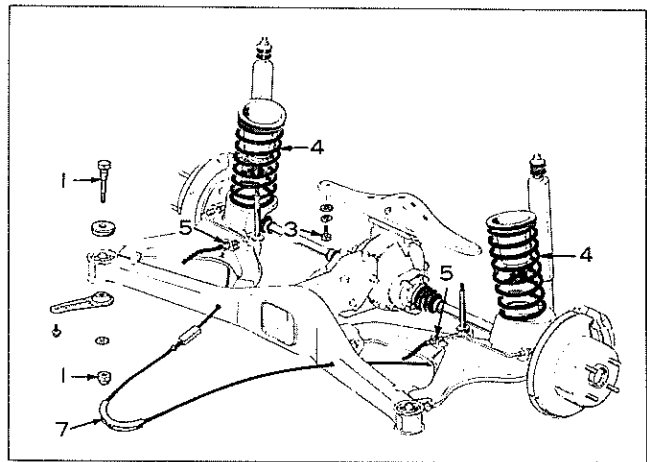


図10-13 サスペンション ASSY取り付け

H0174

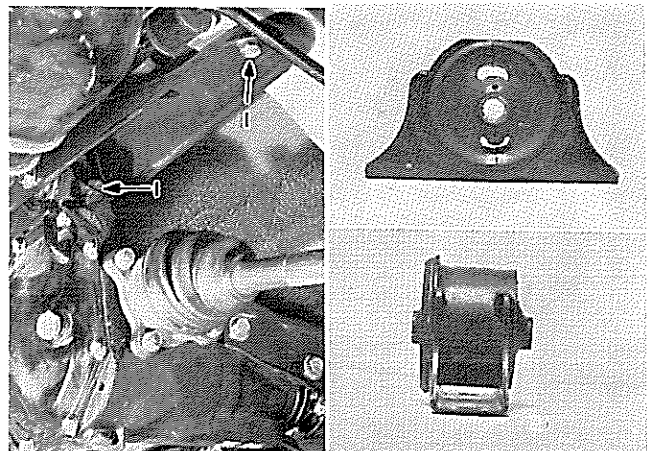


図10-14 サポート メンバ取りはずし

H0175 H0176

リヤホール アライメント

前作業

(1) 次の項目を点検する。

- ① タイヤの摩耗, 空気圧 (P11-25参照)
- ② ホイール振れ
- ③ 関係各部ボルトのゆるみ
- ④ リヤ アクスル シャフトのガタ

〈注意〉

シャフトにガタのある場合は, 次の手順で調整する。

- 1 ホイール, ブレーキ ディスク, ドライブ シャフトを取りはずし, アクスル シャフトの締め付けナットを新品と交換する。
- 2 アクスル シャフトのガタを確かめながら, 5~10°づつナットを締め込み, ガタをなくす。
ただし, 締め付けトルクが $T=2000\text{kg-cm}$ を超えても, ガタがある場合は, スペーサを新品と交換し, アクスル シャフトを再組み付けする。(P9-17参照)
- 3 アクスル シャフトの回転プレロードを測定し, 9kg-cm 以下であることを確認する。
ただし, 回転プレロードが 9kg-cm を超えている場合は, スペーサを新品と交換し, アクスル シャフトを再組み付けする。(P9-17参照)

- ⑤ リヤ アクスル アーム取り付け部のガタ
- ⑥ リヤ サスペンション メンバの取り付け部のガタ
- ⑦ 車高 (P11-25参照)

トーイン点検

トーイン基準値 (空車時)

-3.6~+0.4mm

ただし, トーインはサイド スリツプの測定値により, 良否の判定をする。

サイド スリツプ基準値 (空車時)

1mにつき, アウト, インともに 3mm以内

トーイン調整

- (1) サイド スリツプ測定値が基準値からはずれる場合は, ディスクホイールとデフアレシヤル リヤ カバー 取り付けボルト中心間距離を, 左右測定し, その差が5mm以上ならば, 5mm以内になるまで, どちらか一方のサスペンション アームのカムで調整する (ターニング ラジアス ゲージ) にて調整する)

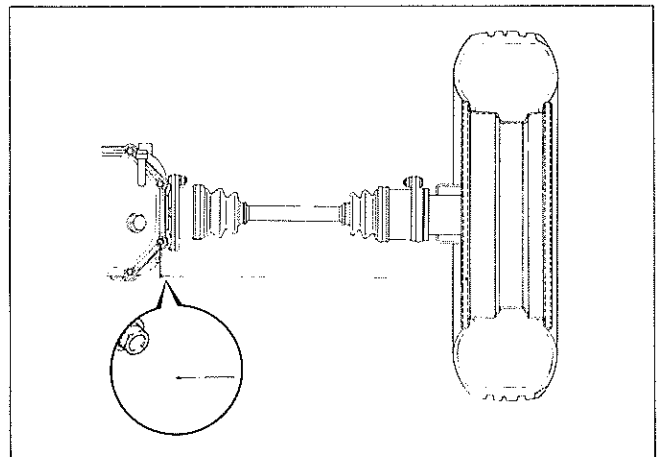


図10-15 左右寸法測定

M2084

10-10 リヤ サスペンション

〈注意〉

- 1 サイド スリップ測定値がアウト側にはずれるときは、寸法の短い方のアームのカムで長くする。
- 2 イン側にはずれるときは、寸法の長い方のアームのカムで短かくする。
- 3 カム位置は、中心位置から5目盛以上回さない。

- (2) 左右のカムを同量づつ回し、サイド スリップが基準値内に入るよう調整する。

〈参考〉

カム1目盛(片側)回すと、サイド スリップは、約1.5~2.5mm(1mにつき)変化する。

- (3) 調整できない場合は、キャンバを測定する。

キャンバ基準値(空車時)

0~1°

計器 キャンバ キヤスタ キング
ピン ゲージなど

測定値が基準値からはずれる場合は、サスペンション アームなどを点検、交換する。

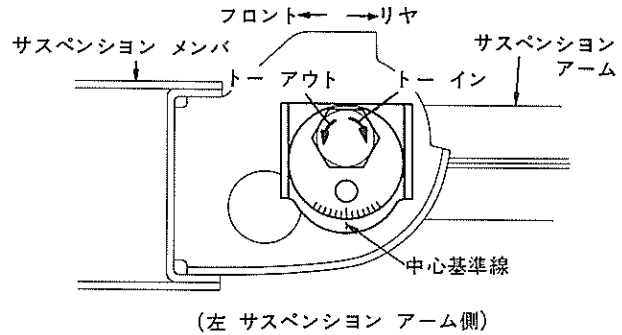


図10-16 カム調整

M2085

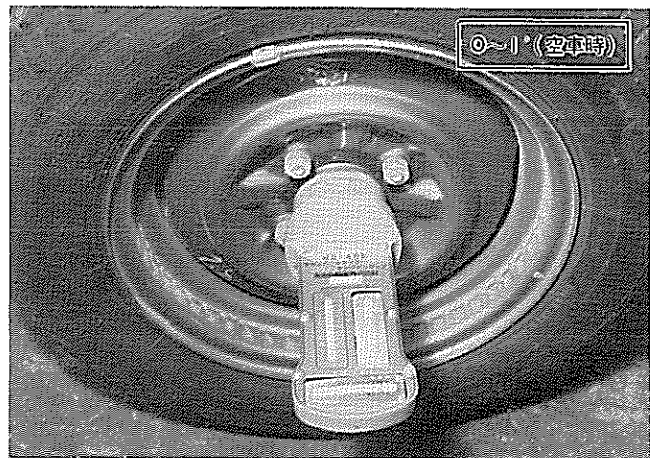
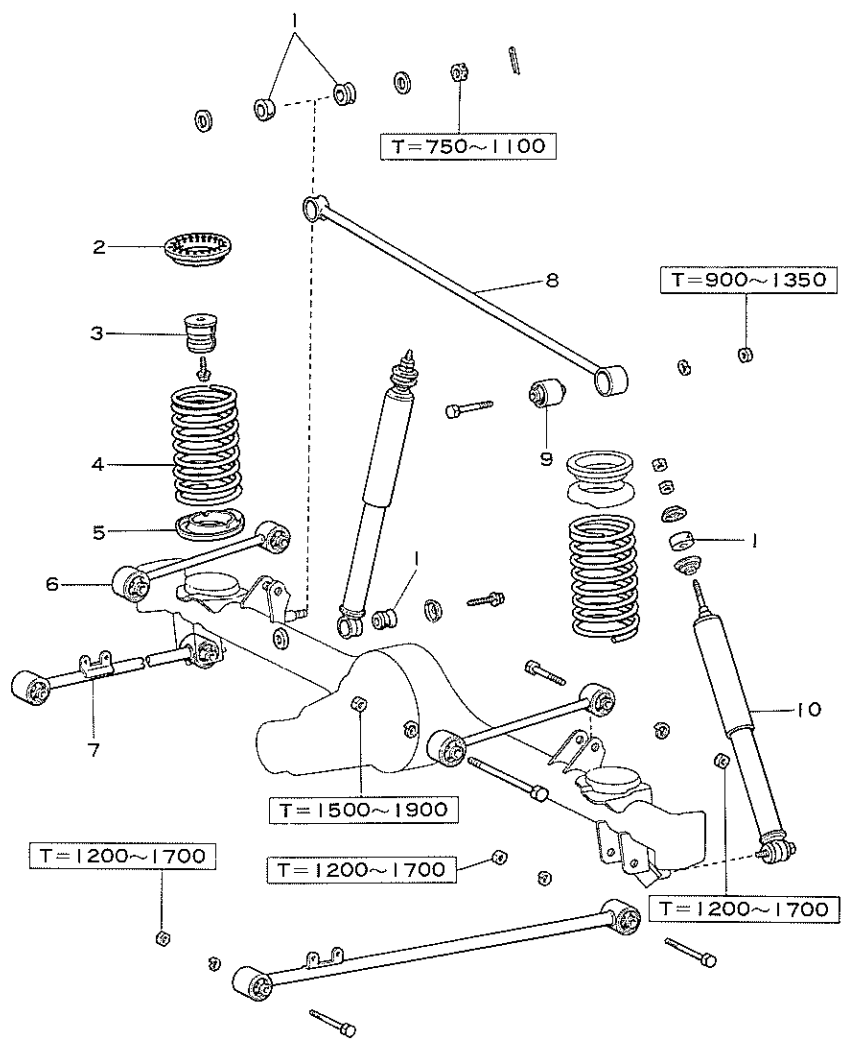


図10-17 キャンバ測定

H0547

〔C-RX, MX30系 4 リンク式〕

構成部品および締め付けトルク



〔締め付けトルク単位：kg-cm〕

- | | | | |
|---|----------------------|----|---------------------------|
| 1 | ブッシュ | 6 | アーム ASSY, アツパ コントロール |
| 2 | インシユレータ, リヤ コイル アツパ | 7 | アーム ASSY, ロワー コントロール |
| 3 | パンパ サブ ASSY リヤ スプリング | 8 | アーム サブ ASSY, ラテラル コントロール |
| 4 | スプリング, コイル, リヤ | 9 | ブッシュ サブ ASSY, ラテラル コントロール |
| 5 | インシユレータ, リヤ コイル ロワー | 10 | アブソーバ, ショック, リヤ |

図10-18 構成部品および締め付けトルク

M2086

SST, 工具, 計器


S S T		09716-30010	ツール, アツパ コントロール アーム
-------------	---	-------------	---------------------

図10-19

シヨツク アブソーバ & コイル スプリング

取りはずし

- (1) フレームをスタンドで支え, リヤ アクスルハウジングをジャツキで支えておく。
- (2) 次の部品を取りはずす。
 - ① ホイール
 - ② シヨツク アブソーバ
 - ③ ラテラル コントロール ロッド (ハウジング側)
 - ④ リヤ アクスルハウジングを下げながら コイル スプリングをはずす。

〈注意〉

フレキシブル ホースおよびパーキングブレーキ ケーブルを引つばらないように注意する。

点 検

- (1) 機能, 異音, 油漏れ, ブシユの摩擦を点検し, 不良のものは交換する。

取り付け

- (1) 次の部品を取り付ける。
 - ① コイル スプリング
 - ② ラテラル コントロール ロッド (ハウジング側)

$T = 750 \sim 1100 \text{kg-cm}$
 - ③ シヨツク アブソーバ

ボデー側 $T = 190 \sim 310 \text{kg-cm}$

ハウジング側 $T = 300 \sim 450 \text{kg-cm}$
 - ④ ホイール
- (2) スタンドを取りはずす。

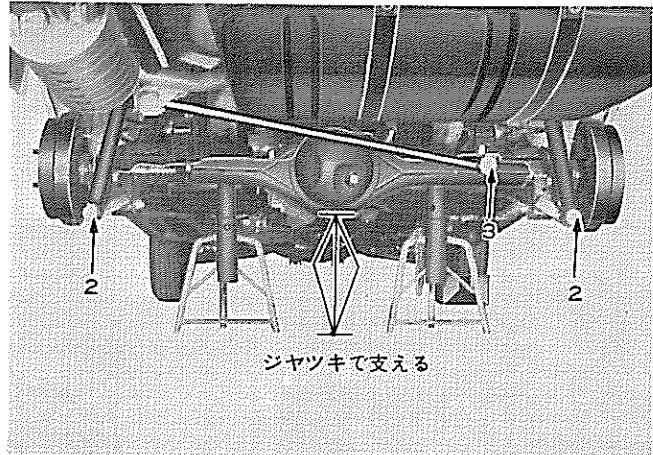


図10-20 シヨツク アブソーバ取りはずし

H0177

アツパ コントロール アーム, ロワー コントロール アーム

取りはずし

- (1) ジャッキ アップし, フレームをスタンドで支える。
- (2) 次の部品を取りはずす。

- ① アツパ コントロール アーム, ロワー コントロール アーム

点 検

- (1) コントロール アームの曲がり, き裂, ブシユの衰損などを点検する。

取り付け

- (1) 次の部品を取り付ける。

アツパ コントロール アーム	ボデー側	T=1500~1900kg-cm,	ハウジング側	1200~1700kg-cm
ロワー コントロール アーム	両端ともに	T=1200~1700kg-cm		

~~~~~〈注意〉~~~~~

~~~~~コントロール アーム取り付けボルトは, 空車状態で締め付ける。~~~~~

ラテラル コントロール

ロッド

取りはずし

- (1) ジャッキ アップし, フレームを
スタンドで支える。
- (2) 次の部品を取りはずす。

- ① ラテラル コントロール ロッド

- ② ブシユ

SST (09716-30010)

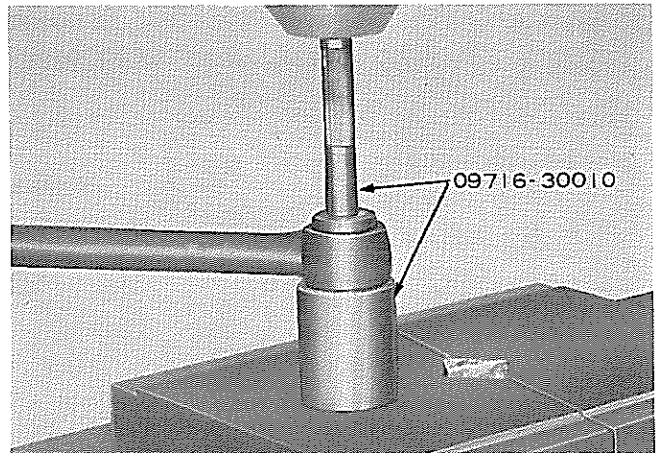


図10-21 ブシユ取りはずし

V4822

取り付け

- (1) 次の部品を取り付ける。

- ① ブシユ

SST (09716-30010)

- ② ラテラル コントロール ロッド

ボデー側 T=900~1350kg-cm

ハウジング側

T=750~1100kg-cm

~~~~~〈注意〉~~~~~

~~~~~ラテラル コントロール 取り付けボルト  
は, 空車状態で締め付ける。~~~~~

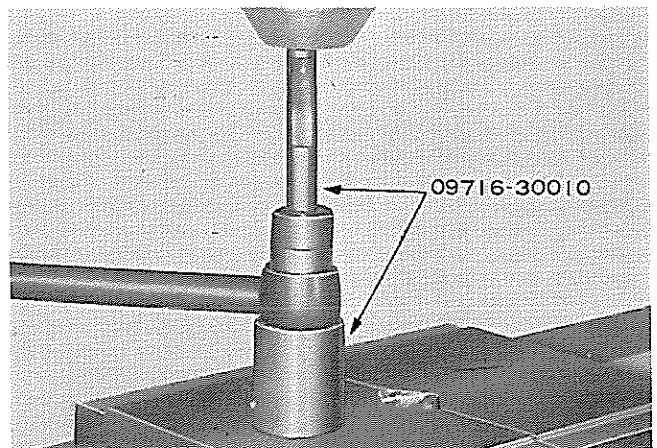


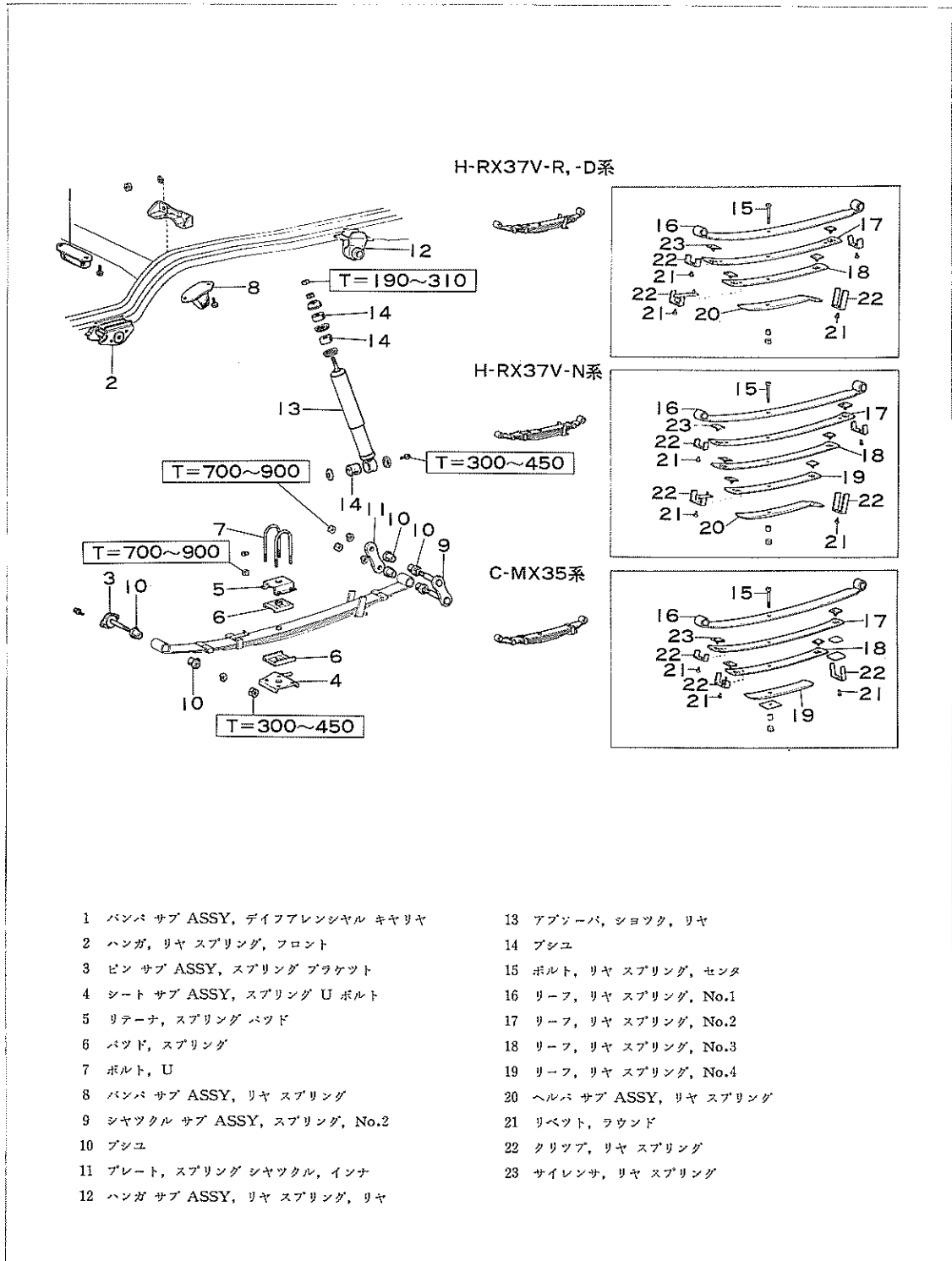
図10-22 ブシユ取り付け

V4822

- (2) スタンドを取りはずす。

[H-RX37V, C-MX35系 リーフ式]

構成部品および締め付けトルク



- | | | | |
|----|-----------------------------|----|-----------------------|
| 1 | バンパ サブ ASSY, デイフアレンシヤル キヤリヤ | 13 | アブソーバ, ショック, リヤ |
| 2 | ハンガ, リヤ スプリング, フロント | 14 | ブシユ |
| 3 | ピン サブ ASSY, スプリング ブラケット | 15 | ボルト, リヤ スプリング, センタ |
| 4 | シート サブ ASSY, スプリング U ボルト | 16 | リーフ, リヤ スプリング, No.1 |
| 5 | リテーナ, スプリング パッド | 17 | リーフ, リヤ スプリング, No.2 |
| 6 | パッド, スプリング | 18 | リーフ, リヤ スプリング, No.3 |
| 7 | ボルト, U | 19 | リーフ, リヤ スプリング, No.4 |
| 8 | バンパ サブ ASSY, リヤ スプリング | 20 | ヘルパ サブ ASSY, リヤ スプリング |
| 9 | シヤツクル サブ ASSY, スプリング, No.2 | 21 | リベット, ラウンド |
| 10 | ブシユ | 22 | クリップ, リヤ スプリング |
| 11 | プレート, スプリング シヤツクル, インナ | 23 | サイレンサ, リヤ スプリング |
| 12 | ハンガ サブ ASSY, リヤ スプリング, リヤ | | |

図10-23 構成部品および締め付けトルク

リーフ スプリング

取りはずし

- (1) フレームをスタンドで支え、ジャッキでリヤ アクスルハウジングを支えておく。
- (2) 次の部品を取りはずす。

- ① ホイール
- ② ショックアブソーバ下部
- ③ パーキングブレーキケーブルのクランプサポートプレート
- ④ Uボルト、シート & パッド (下側)

- (3) アクスルハウジングがスプリングから浮くまでジャッキアップし、次の部品を取りはずす。

- ⑤ パッドリテーナ & パッド (上側)

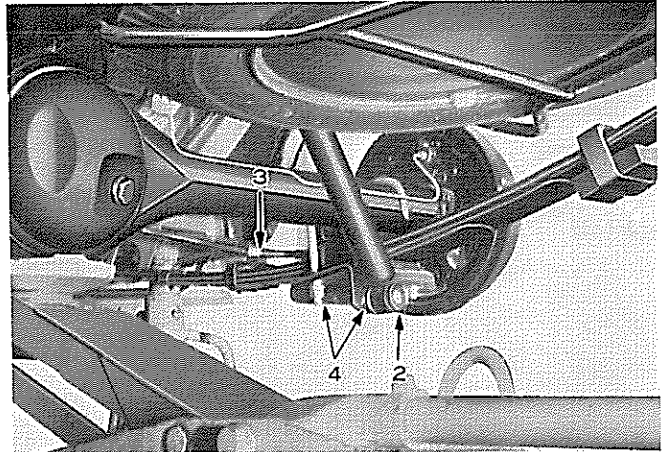


図10-24 リーフ スプリング取りはずし (その1)

H0182

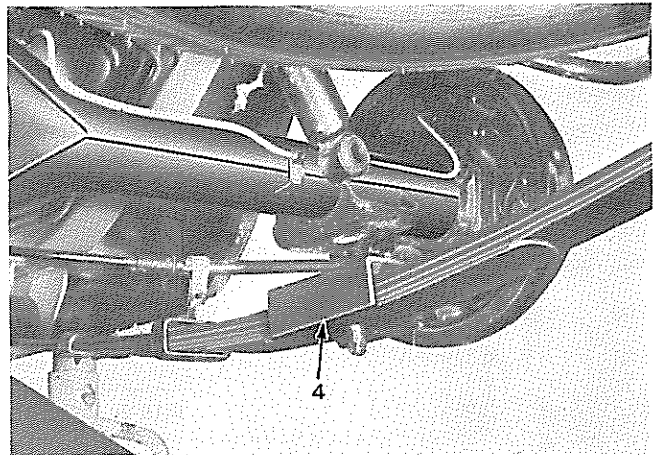


図10-25 リーフ スプリング取りはずし (その2)

H0178

- ⑥ スプリングブラケットピン & ブッシュ
- ⑦ スプリングシャックル & ブッシュ
- ⑧ スプリングシャックルインナープレート

＜注意＞

シャックルの取り付けボルトの取り付け方向が、左右非対称であるので注意する。

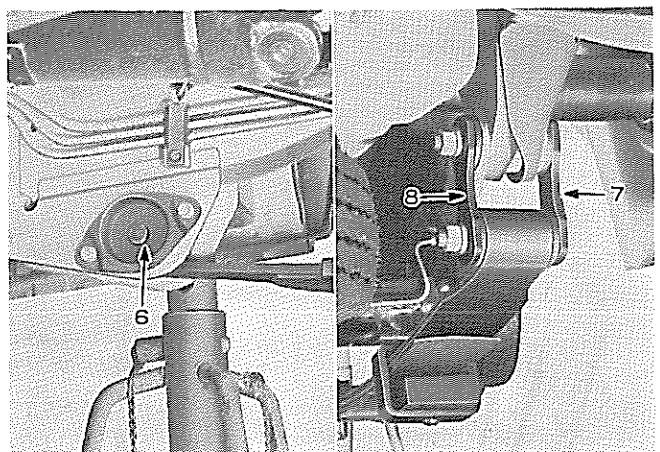


図10-26 シャックルピン & ブッシュ取りはずし

H0179 H0180

分 解

- (1) クリツブを起こす。
- (2) スプリングをバイスにはさみ、センタ ボルトを取りはずす。
- (3) スプリング サイレンサをはがす。

組み付け

- (1) スプリング サイレンサを接着する。
- (2) センタ ボルトをスプリングに通し、バイスなどでスプリングを圧縮して、センタ ボルトを締め付ける。
- (3) スプリング クリツブを曲げる。

取り付け

- (1) スプリング前端に内側ブシュを組み付け、ハンガにそう入する。
- (2) 次の部品を組み付ける。
 - ① 前端外側のブシュ
 - ② ハンガ ピン (仮り締め)
 - ③ 後端ブシュ & ハンガ ブシュ
 - ④ シャツクル & ピン (仮り締め)
 - ⑤ パッド & パッド リテーナ
- (3) リヤ アクスルのスプリング シート穴をセンタ ボルトに合わせてリヤ アクスルを降す。
- (4) 次の部品を組み付ける。
 - ⑥ U ボルト & シート
T = 700~900kg-cm
 - ⑦ ショック アブソーバ
T = 300~450kg-cm
 - ⑧ パーキング ブレーキ ケーブルのクランプ サポート ブレート
 - ⑨ ホイール
- (5) スタンドをはずし、ブラケットピン & シャツクル ピンを締め付ける。

ブラケットピン 300~450kg-cm
 シャツクル ピン 500~700kg-cm

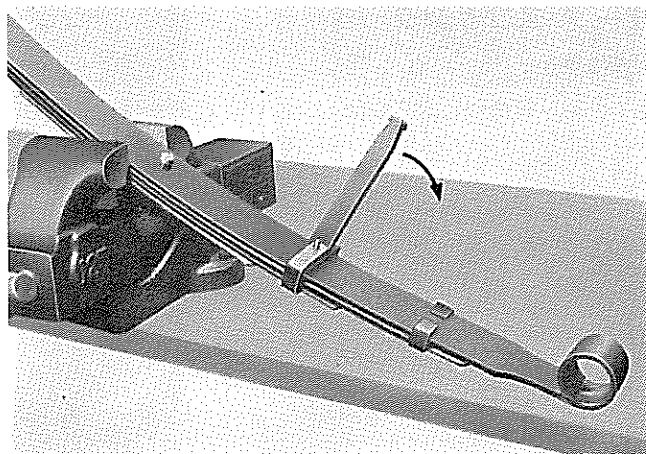


図10-27 リーフ スプリング分解

H0181

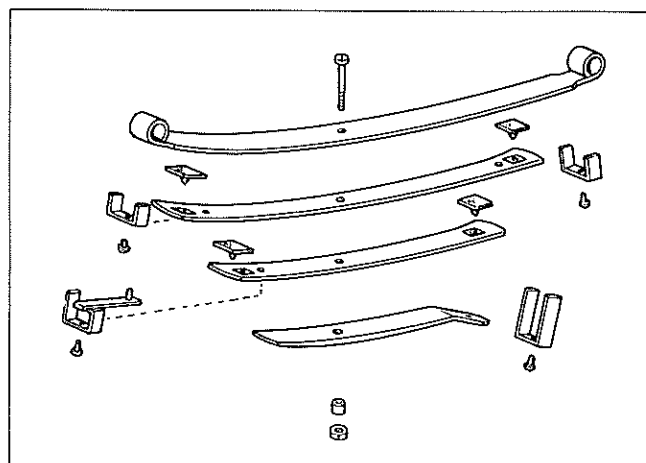


図10-28 リーフ スプリング構成

M2188

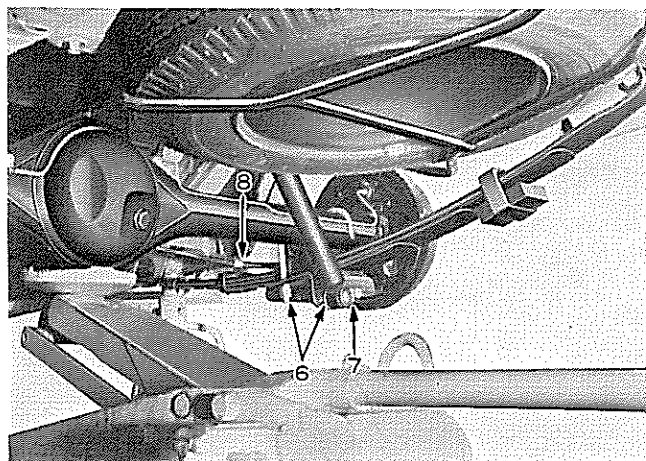


図10-29 リーフ スプリング取り付け

H0182

〈注意〉
 ピン & シャツクル ピンの 締め付けは、空車状態で行なう。